

海外情報ポータル

通商弘報から(ジェトロ)

www.jetro.go.jp

▼ロシア、自由港制度をウラジオにも拡大へ

ロシアのプーチン大統領は9月経済フォーラムでの講演に続きに行われた年次教書演説の中で方のウラジオストック周辺地域を自由港制度の範囲を他の極東連治体と主要港にも拡大させると大統領の指示に基づき、極東発展自由港」法案を起草した。それ自由港が沿海地方以外の4つのにも拡大する見込みだ。

(www.jetro.go.jp/biznews/2015/67712fd8049)

▼サウジアラビアの財政逼迫、削減の動き

サウジアラビアでは、長引く原油や中東情勢の混迷が続くなか歳出増に伴う対外資産の急速な8年ぶりの国債発行など、政府状況を伝える報道が続いている。財務省が各省庁や政府系機関に「支出削減令」を出した。こ油鉱物資源相や副皇太子がエネの国庫補助金削減の可能性に言ど、新たな動きもみられる。

(www.jetro.go.jp/biznews/2015/e3093c3635c)

▼チェコ首相が中国を公式訪問、中・東欧進出拠点に

チェコのソボトカ首相は11月21国を訪問し、習近平国家主席、らと会談、両国の経済・研究開ける協力関係強化に努めた。1.る訪問で、31の協定・覚書を締中国は、チェコを中国にと東欧における交通・金融の拠点えだ。

(www.jetro.go.jp/biznews/2015/1d35e150ae)

ビジネスワイヤから

www.businesswire.com

▼米エヴォクア・ウオーター・テズ、シンガポールで水事業を管事業庁(PUB)と共同で海水1900立方メートルの淡水をつくる海水ントを建設、省エネ型の水処理用して電力消費量やコストを削減表(www.evoqua.com)

▼サッカーのイングランド・プレミアのクラブであるAFCボーンマのバイタリティー・スタジアムィールドを照らす照明システムスポーツ・ライトニングの発光

生産・開発拠点の新設や店舗の開業など、海外に進出する中小企業は増えている。大企業と比べて少ない資金や人材をいかに有効利用できるかは、多くの経営者の悩みのところだ。中小と支援企業のマッチングサイトを運営し、累計9千件の相談を受けてきたリソーズ(東京・目黒)の児嶋裕貴社長に、海外での市場開拓する際の注意点や課題などを聞いた。

中小の海外進出

エキスパートの視点



リソーズ社長

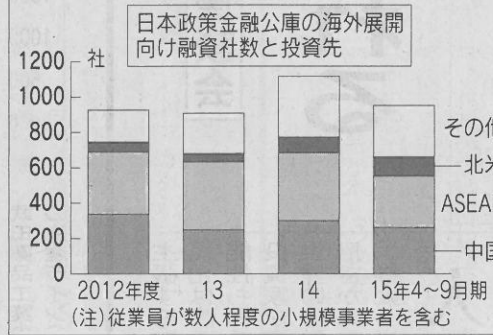
児嶋 裕貴氏

こじま・ゆうき 2004年早大商卒。テレビ制作会社勤務などを経て09年にリソーズ設立。「民間版・日本貿易振興機構(ジェトロ)」を目指し、東南アジア中心に130カ国・地域、600社の弁護士・税理士事務所、金融機関などと提携。35歳。

文化・風習の熟知を

「タイやフィリピンなどASEAN(東南アジア諸国連合)地域への関心が高い。人口が多く、心が高いため、単に日本た情報はもちろん、知的な改訂策などを熟考したうえで検討すべきだ」

日本公庫の海外向け融資は足元で急増する



非常時の対応も想定

「最低でも一度は行くべきだ。文化や嗜好のほかに、競合を把握するには、その土地に滞在するしか方法は無い。特に新興国では水道光熱やネット環境、物流のインフラが不十分な地域も多く、その現状を肌で知る良い機会にもなる」

「日本での成功モデルは、南部などに建設する万人の人口があり、平均1.5人(アルコール飲料協会の体(AEC)の誕生に伴

【ハノイ＝富山藩】ベトナムで食品や飲料メーカーが設備投資を加速している。食品大手のマサ